

満天 LETTER

～七帝戦展望号 フィールド・主将・女子主将編～

目次

- 1、 はじめに・・・1
- 2、 七帝戦展望～フィールド・主将・女子主将編～・・・1
- 3、 おわりに・・・6

1、 はじめに

いよいよ阪大主管七帝戦が今週末に迫ってまいりました。部員も気合十分に練習に取り組み、今は調整期間に入っています。これまで練習してきた成果を OB・OG の皆様の前で発揮できるよう頑張りたいと思いますので、ご支援・ご声援よろしくお願いいたします。

ここで前回の満天 LETTER の訂正をさせていただきます。「OB 会費・メセナ基金・寄付金を頂いた OB・OG の皆様（2013 年 7 月 4 日現在）のご紹介」で佐村幸弘様の御卒業年度が間違っておりました。正しくは昭 41 年度御卒業です。大変申し訳ありませんでした。

2、 七帝戦展望～フィールド・主将・女子主将編～

跳躍パート パート長 中村洋文

走高跳

吉武(工・3)、田谷野(工・2)、北(法・2)が出場します。吉武は怪我などの影響で今シーズンは思うような結果を残せていませんが、昨年出した自己ベスト付近の記録を残せば入賞が狙えます。田谷野は関西インカレこそ残念でしたが、シーズン序盤に大学ベストを跳んでいるので、上位入賞も期待できます。北は十種競技に挑戦するため、最近走高跳を始めたばかりなので、どこまで伸びるか楽しみな存在です。

棒高跳

細田(工・4)、宮崎(工・3)、五十嵐(工・1)が出場します。細田は跳躍パートでは唯一の 4 年連続出場となります。経験を生かした試合運びと、高校以来の自己ベストでの表彰台が期

待されます。宮崎は今シーズンに自己ベストを更新しており、非常に調子がいいです。緊張し過ぎず自分の力を発揮できれば、入賞の可能性は十分あります。五十嵐は 1 回生ということで、受験のブランクこそありますが、最近かなり戻ってきています。インターハイ経験者であるので本来の力を発揮できれば入賞は確実です。

走幅跳

中村(工・4)、渡辺(工・2)、小口(基・1)が出場します。中村は怪我により関西インカレでは低調でしたが、最近調子を戻してきました。昨年の七帝戦では同記録で入賞を逃しているため、今年はその雪辱となります。渡辺は関西インカレで、七帝戦同種目三連覇中の京大の西村(4)に自己ベストで勝って優勝しました。また先日の西日本インカレでは **7m42cm** を跳び、自己ベストを更新しており、優勝の大本命です。小口は試合の度に記録を伸ばしてきており、調子は上向きです。自己ベストも高く、本番で記録を伸ばせば入賞を狙えます。

三段跳

島田(医・5)、酒井(工・4)、渡辺(工・2)が出場します。島田は今シーズン試合の出場機会が少なかったですが、14m 以上の持ち記録があるので、本番で本来の力が発揮できれば入賞は確実です。酒井は怪我であまり試合に出ることができていませんが、跳躍パートの現役部員の中では随一の身体能力を持っているので、自己ベストを大幅に更新できれば入賞できます。渡辺は三段跳でも関西インカレで入賞しています。順当にいけば、走幅跳との二冠ができるはずです。

投擲パート

パート長 徳永卓朗

砲丸投げ

徳永(理・4)、鶴崎(基・4)、中澤(基・3)が出場します。10m 中盤の選手が多く、3 人ともそこで競り勝てるかどうかポイントになってきます。3 人で 6 点を目指します。

円盤投げ

徳永(理・4)、鶴崎(基・4)、中澤(基・3)が出場します。中澤は唯一の 40m スロワーで優勝は確実かと思われます。記録に期待です。鶴崎はもともと力のある選手で実力を発揮できれば表彰台にのれそうです。徳永は持ち記録では 6 位争いをするようになるかとおもいます。多くの選手と競ることになるので、いかに自分の投げに集中できるかが鍵となります。3 人で 10 点を目指します。

やり投げ

中澤(基・3)、神田(工・2)、山中(基・1)が出場します。中澤、神田は大会記録(65m85)を更新できるほどの実力があり、1位、2位は確実かとおもわれます。記録に期待です。山中は受験のブランクがあり、まだ本来の力を取り戻せていません。50m にどれだけちかづけるか自分との戦いです。3人で11点を目指します。

ハンマー投げ

武藤(外・5)、崎(外・3)、布川(工・3)が出場します。武藤は留学、就活としばらくブランクがありましたが、全く問題ありません。圧倒的な力で優勝するでしょう。崎は武藤に次ぐ2番目の記録をもっていて、武藤にどれだけ迫れるか自分との戦いです。布川は練習では40m近くを投げるようになり、力をつけてきました。試合でも練習のように投げられれば上位に食い込めるかもしれません。3人で12点を目指します。

女子展望・抱負

女子主将 平川菜央

100m

今シーズンの100mで得点を重ね続けているコンビ、馬越(工・3)と脇本(文・2)が出場します。徐々に100mに手ごたえを感じはじめているという馬越は、決勝進出を果たした一昨年の記録(13“38)をこえ、ぜひとも得点をあげてほしいところです。また脇本は今シーズン100mが好調であり、持ちタイムから有力候補にも挙げられるほどの実力者です。決勝で12秒台を出しての入賞が期待されます。

400m

脇本(文・2)、寺田(法・1)の出場です。ここ最近怪我で思うように練習を積めなかった脇本ですが、見る者を圧倒する気迫溢れるレースで、昨年の九州では惜しくもかなわなかった入賞を、ここで決めてくれることを願います。1年生の寺田は大きなフォームとひたむきな走りが特徴の選手です。自己ベストに迫る60～61秒で2本きっちり走り切ることができれば、得点も十分に見込まれます。

800m

4回生パワーで心身ともに充実している平川(人・4)、“飛ぶ鳥を落とす勢い”をレースごとにまさに体現しているといつてよい後井(外・2)のダブルエース体制で臨みます。2人とも名阪戦で2分22秒台のベストを出し、2人で表彰台さえも現実味を帯びてきました。平川は最終学年の意地と根性の走りで、後井はこれまでの勢いそのままの豪快な走りで、先頭

集団での争いを繰り広げたいところです。

3000m

藤沢(外・4)、森瀬(法・2)が出場します。ユニバーシアード優勝を果たした鈴木(3)をはじめ実力者が揃っていますが、暑い長居でのレースとなるため諦めず走りぬくことが得点への鍵となるでしょう。1年で30秒記録を伸ばした部内一の努力家藤沢は、最後までくらいついて、きっと1点をもぎとってくれることと思います。森瀬も先日10分台を出した勢いのある選手です。1つでも順位を上げて、駅伝への大きなステップにしてくれることを願います。

4×100mR

寺田(法・1)、馬越(工・3)、櫻井(医・2)、脇本(文・2)のオーダーでバトンを繋ぎます。新生チームで経験はまだ浅いものの、個々の走力は確実にレベルアップしている上、それぞれの専門種目の違いを乗り越え、練習を重ねてきました。50～51秒台で実力が拮抗しているため、1つのバトンを繋ぎながらゴールまで勢いを加速させるようなレースを一発決めれば上位に食い込むことは可能でしょう。寺田、馬越、脇本は個人種目もありますが踏ん張ってほしいところです。櫻井にはここで短短としての存在感を見せ付けてくれることを望みます。

走幅跳

馬越(工・3)、松村(外・4)の出場です。七大戦の走幅跳は毎年レベルが上がっており、半分近くもの選手が5m台という状況ですが、馬越も5mジャンパーであり、また昨年以上に跳躍練習にも時間を割いて熱心に取り組んでいるため、十分にポイントは期待できます。松村もこの七大戦という大きな舞台で自己ベストを更新し、持ち前のしなやかでばねのある跳躍で、ポイント争いに加わってほしいと思います。

走高跳

松村(外・4)、東村(人・2)が出場します。松村は昨年も出場していますが悔しい結果に終わっているため、最終学年である今年に、リベンジしてほしいところです。のびのびとした跳躍で、できるだけ長くピットにとどまることを期待します。東村は昨年から走高跳に挑戦しており、技術練習を丁寧に頑張ってきました。ベストを更新してのポイントゲットを果たしてほしいです。

砲丸投

小西(理・4)、馬越(工・3)が出場します。本来はやり投が専門の小西ですが、昨年2位の実績を誇っており、今年度も表彰台が期待されます。今シーズンも記録は安定しているため、七大戦では9mを超える貫禄の1投が見たいものです。また、そんな小西に肉薄する記録を出しているのが馬越で、投擲練習も精力的にこなしているため、多種目出場ながらも鮮やかに複数入賞を決めてくれるのではないかと思います。

1位と同点、優勝種目数差で二位、という結果に涙を飲んだ昨年の七帝戦から早くも1年が経ちました。その得点すら当時の4年生の先輩方の貢献によるものであることに危機感を覚えた私たちは、この1年で、個々のレベルアップに懸命に取り組んで参りました。その結果、今シーズンでは七帝の得点を狙うことのできる選手が着実に増えています。また、普段はそれぞれのパートで男子と共に練習に励みながらも、種目の垣根を越えてお互いのことを気かけあうことが多くなるなど、チームの団結も強くなっています。

先日の名阪戦では惜敗してしまったものの、去年の優勝校、今年度も有力な優勝候補である名古屋大を相手に善戦できたことは大きな自信となっています。厳しい戦いを強いられることに変わりはないですが、強い気持ちとチーム力で他大学を圧倒したいと思います。

1人1人の最高のパフォーマンスを、7月末に長居でお見せできるよう、そして主管試合でアベック優勝という快挙を達成できるよう全力で頑張りますので、応援よろしく願いいたします。

主将抱負

主将 出口大幹

梅雨入りかと思えば、雨が降らず、暑くなったり、涼しくなったりと天候も安定しませんが、OB,OGのみなさまはいかがお過ごしでしょうか?まずは、この場を借りて、OB,OGのみなさまに日頃のご支援や、応援に感謝申し上げます。

いよいよ今年も七帝戦の季節がやってきました。去年の七帝戦は、男子は総合4位、女子は惜しくも総合2位、今年の開カレでは2部昇格を逃しており、悔しい結果が続いています。なので、今年はなんとしても、男子、女子とも総合優勝を勝ち取りたいと思います。また、今年は阪大が7年に1度の主管校であります。競技で奮起することはもちろんのこと、円滑な運営をしたいと思います。

今年は主管校ということで、普段以上のご支援やご迷惑等かけることになると思いますが、ご協力よろしく願いいたします。また、お忙しいとは思いますが、会場は大阪の長居第二陸上競技場(7/27 オープンの部,28 対校の部)ですので、ぜひ当日は足を運んでいただ

いて、現役部員を叱咤激励していただきたいと思います。最後になりましたが、日頃のご支援に重ねて感謝申し上げます。七帝戦は、厳しい戦いが予想されますが、当日までに練習に励み、当日も精一杯戦い抜きたいと思いますので、ぜひ応援よろしく願いいたします。

3、 おわりに

次回は、七帝戦結果号をお届けする予定です。皆様に良い結果をお届けできるよう頑張ります。

阪大陸上部公式ホームページも随時更新しております。大会結果、部員名簿等を掲載しておりますので、ぜひそちらもご覧ください。七帝戦特設サイトもございますのでぜひお越しください。また、OB 掲示板も開設しております。情報交換の場としてお役立ていただければ幸いです。

公式ホームページ <http://www.osaka-u-athlete-club.com/index.html>

OB 掲示板 <http://jbbs.livedoor.jp/school/25842/>

掲載内容についてのご意見、また配信停止の御希望等がございましたら、

満天 LETTER 編集係 manten.letter2010@gmail.com までご連絡ください。

満天 LETTER 2013 年七帝戦展望号 フィールド・主将・女子主将編

発行 大阪大学陸上競技部

大阪府豊中市待兼山 1-1

発行日 平成 25 年 7 月 24 日

編集責任者 増谷賢吾

川上小百合